

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないてください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

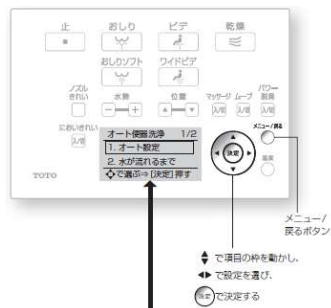
■ 設定のしかた

・凍結防止の前に

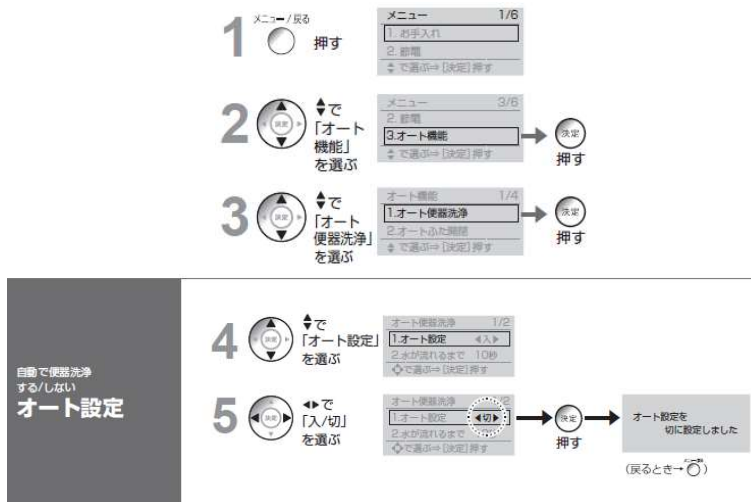
リモコンで、「オート便器洗浄」(F3W・F3・F2・F1以外)、

「オートふた開閉」(F2・F2A・F1・F1A以外)を「切」にしてください。

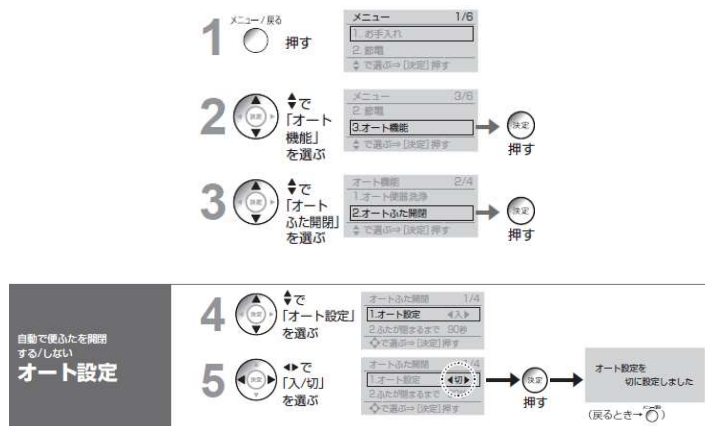
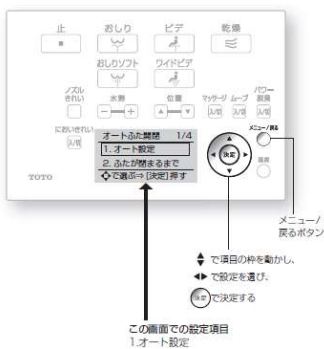
オート便器洗浄



- ※1 「オート設定」が「切」のときは、この操作はできません。
※2 F2A・F1A以外



オートふた開閉



凍結予防のしかた

1 止水栓または元栓を閉める
・給水が止まる

⚠ 注意

止水栓や元栓を開けたまま、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない
(水が噴き出す原因)

●水抜栓がある場合
・水抜栓を操作して給水を止める


お願い
・止水栓は開けたままにしておいてください
(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)

2 ロータンクレバーを大洗浄側に回してロータンクの水を抜く
・水が流れなくなるまでレバーを回す


3 ノズルきれいを押す
・ノズルカバーが開く(給水管の圧抜き)

4 電源プラグを抜く


5 配管の水を抜く
①カバー・給水フィルター付水抜栓を取りはずす
・給水フィルター付水抜栓をドライバーでゆるめたあと、引っ張る



②給水ホースの水を抜く
給水ホース
水平に



③水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓・カバーを取り付ける
・給水フィルター付水抜栓を押し込み、ドライバーで確実に締める



6 電源プラグを差し込む
・「運転」ランプが点灯する

7 便座温度を「高」にする
・保温のため、作業後は便座・便心たを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。
(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

水抜きのしかた


1 ロータンクの水を抜く

2 ノズルきれいを押す
・ノズルカバーが開く(給水管の圧抜き)

3 電源プラグを抜く

4 配管の水を抜く

5 水抜きレバーを引き出す
・ノズル付近から水が出る(約20秒)



6 手を離し、水抜きレバーを元に戻す



■凍結のおそれがあるときは
・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。


再通水のしかた

1 止水栓または元栓を開ける
または、水抜栓を操作して、給水する
・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する

2 電源プラグをコンセントに差し込む
・「運転」ランプが点灯する

3 ノズルから水を出す
①便座の左側を押したまま、
②リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
・水は紙コップなどで受けてください。
③リモコンの「止」ボタンを押す

■残水が凍結して水が出ないとき
・トイレ内を温め、お湯に湿した布で給水ホースと止水栓を温める



紙コップ
水でぬらしたやわらかい布(凍つきを防ぐため)